

閣僚の略歴 (内閣発足2011年1月18日)

首相 (閣僚会議議長)

ドナルド・トウスク (Mr. Donald Tusk)

下院議員 (市民プラットフォーム党首)

1957年 グダンスク生まれ グダンスク大学人文学部卒



ポーランドの少数言語グループであるカシューブ人の家庭に生まれる。大学卒業後、体制転換までは「連帯」運動等の反体制活動に力を入れる。1990年、ビエツキ元首相等、同じグダンスク地方の若手政治家と共に政党「自由民主会議」を設立、一貫して政治的には中道・右派で、経済政策ではよりバラバラな方針を維持してきた。2001年コオレホフスキ元外相等と市民プラットフォーム (PO) を設立し、2003年から党首を務める。2005年の大統領選挙では、故レフ・カチンスキ大統領に僅差で敗北。2007年から首相に就任。2011年の総選挙でPOが再び第一党となり、2期連続で首相を務める。マウゴジヤータ夫人との間に一男一女。

- 1980年 グダンスク大学に反体制系の独立学生連帯設立
- 1980~81年 独立系出版社「沿岸出版」編集員、「自主管理」誌記者
- 1980~89年 自主管理労組「連帯」所属
- 1991~93年 2001年~ 下院議員
- 1991~94年 政党「自由民主会議」党首
- 1994~2000年 政党「自由同盟」副党首
- 1997~2001年 上院議員 (上院副議長)
- 2001~05年 下院副議長
- 2003年~ 政党「市民プラットフォーム」党首
- 2007年~ 首相

副首相兼経済相 【2012年12月就任】

ヤヌシュ・ピエホチンスキ (Mr. Janusz Piechocinski)

下院議員 (農民党党首)

1960年 ストウジアンキ生 ワルシャワ計画統計大学卒

1987年からポーランド農民党 (PSL) に入党。1989年から下院議員に当選。2005年に一度落選するも、2007年から再び下院議員に返り咲き、現在まで下院議員。2012年11月のPSL党首選で、パブラク党首を破り、PSL新党首に選出。主に交通インフラ分野を専門。



副首相兼財務相

ヤン・ヴィンセント・ロストフスキ (Prof. Jan Vincent Rostowski)

下院議員 (市民プラットフォーム)

1951年生 英国ロンドン生 ロンドン大学卒



経済学者として、1990年代前半にロンドン大学で教鞭を執る一方で、1989年~1991年コホ・ヴィツェロヴィチ副首相兼財務大臣の経済顧問を務める。その後も、財務省マクロ経済政策委員会長 (1997年~2001年)、中央銀行総裁顧問 (2002年~2004年) を歴任。1996年からブダペスト中欧大学経済学部長。2004年からPKO銀行専任高層顧問も務める。2007年から財務相に就任。2011年の総選挙でワルシャワ選挙区から出馬して下院議員に当選。2013年2月の内閣改組で副首相兼に昇格。

行政・デジタル相

ミハウ・ボニ (Mr. Michał Boni) 非議員

1954年 ポズナン生 ワルシャワ大学ポーランド学部卒業 1986年、
社会文化博士号取得。



1991年、マゾヴィエツキ政権及びピエレツキ政権で労働・社会政策相を務める。2008年からトウスク首相兼戦略顧問グループの長を務め、党選挙プログラム策定に関わる。2009年1月から無任所大臣(立法事典担当)に就任し、財政健全化のための経済・社会改革法案をとりまとめる。

外相

ラドスワフ・シコルスキ (Mr. Radosław Sikorski)
下院議員 (市民プラットフォーム副党首)

1963年 ビドゴシチ生 オックスフォード大学政治経済学部卒



1981年の戒厳令時にイギリスに亡命。オックスフォード大学卒業後ジャーナリストとなり、内戦下のアフガニスタン等で取材を行う。1992年に国防次官に抜擢され、その後1998年~2001年にお外務次官を務める。ワシントンDCの著名シンクタンクであるAEIの常務研究員を経て、2005年10年にお、総選挙で「法と正義」(PiS)から出馬し、上院議員に当選。マルチンキェヴィチ内閣・カチンスキ内閣の国防相に就任。2007年の総選挙では、市民プラットフォーム (PO) に鞍替えして、下院議員に当選。2007年以降、外相を務める。

運輸・建設・海事経済相

スワボミル・ノバク (Mr. Sławomir Nowak)
下院議員 (市民プラットフォーム)

1974年 グダンスク生 グダンスク大学社会学部及びグデーニア海事大学行政学部卒



1994年、学生の時から会社を立ち上げ、1999年、民間広告会社「Signum Promotion」の社長を務め、2002年から「グダンスク・ラジオ」の副社長を務めた。政界には2001年から市民プラットフォーム (PO) から出馬し、選挙で落選したものの、2004年、レバンドフスキ現EU委員の欧州議員への転出に伴い、繰り上げ当選。2007年の総選挙ではグダンスクから出馬し当選、首相府次官を務め、2010年から大統領府次官に就任している。

内務相 【2013年2月就任】

バルトロメイ・シェンキエヴィチ (Mr. Bartłomiej Sienkiewicz)
非議員

1961年 ヤギエウォ大学哲学歴史学部卒。



80年代、民主化・反政府活動に従事。90年代に東方研究所 (Ośrodek Studiów Wschodnich) を共同創設。ポーランド治安組織に精通する評論家。2013年2月、チホツキ内務相の首相府長官への転出により、同後任として内務相に就任。ノーベル賞作家ヘンリク・シェンキエヴィチの曾孫にあたる。

国防相

トマシュ・シェモニヤク (Mr. Tomasz Siemoniak) 非議員

1967年 ヴァウブジフ生 ワルシャワ商科大学海外貿易学部卒

2000年から2002年までワルシャワ副市長。その後2006年から2007年までマゾビエツキ県副知事を歴任。2007年から内務・行政省で災害復興担当次官に就任。2011年、クリフ国防相の辞任を受けて、2011年8月から現職。



農業・農村開発相 【2012年8月就任】

スタニスワフ・カレンバ (Mr. Stanislaw Kalemba)
下院議員 (農民党)

1947年 ピェカーリ生 ポズナン農業大学農学部卒

1975年から現在の農民党 (PSL) の全身である統一農民党 (ZSL) に所属し、1991年から下院議員として、現在まで7期連続で当選。2012年7月のサビツキ農相の辞任を受けて、2012年8月から現職。トゥスク政権2期目の最初の交代閣僚。



文化相

ボグダン・ズドロイエフスキ (Mr. Bogdan Zdrojewski)
下院議員 (市民プラットフォーム)

1957年 クウォゼック生 ヴロツワフ大学哲学学部及び文化学部卒

1990年～2001年に体制転換後初のヴロツワフ市長。在任中、1997年同市が洪水被害にあった際、市長としての指導力が評価され高い人気を得る。1997年に上院に選出されるも、憲法違反市長職との兼任を認めなかったことを受けて辞任。2001年から4期連続で下院議員。2006年から、市民プラットフォーム (PO) 院内総務を務める。2007年から文化相に就任。



法相

ヤロスワフ・ゴヴィン (Dr. Jarosław Gowin)
下院議員 (市民プラットフォーム)

1961年 クラクフ生 ヤギエウオ大学哲学部卒、英ケンブリッジ大学留学、博士号取得

2005年の総選挙でクラクフから市民プラットフォーム (PO) のリストから出馬し上院議員に当選。2007年の総選挙では下院議員として当選。憲法改正などにも取り組むPOにおける保守派の論客として知られ、カトリック教会に関する著作多数。



労働・社会政策相

ヴワディスワフ・コシニアク・カミシュ (Mr. Władysław Kosiniak-Kamysz) クラクフ市議会議員 (農民党)
1981年 クラクフ生 ヤギエウォ大学医学部卒



年齢が30歳と若く、父親はマゾヴィエツキ政権下のアンジェイ・コシニアク・カミシュ保健相。2010年の統一地方選挙で農民党から出馬し、クラクフ市議会議員に当選。

国有財産相

ミコワイ・ブザノフスキ (Mr. Mikołaj Budzanowski)
非議員
クラクフ生 ヤギエウォ大学歴史学部卒、外交・国際関係を専攻。博士号取得。



2002年からマウオポルスキエ県庁に勤務、2004年から欧州議会で勤務し、2008年1月、環境省気候変動局長、同年9月から国有財産省民営化監視局長を務め、2009年7月から同省次官に抜擢。

国民教育相

クリシュティナ・シュミラス (Ms. Krystyna Szumilas)
下院議員 (市民プラットフォーム)
1956年 クヌルフ生 シロンスク大学数学部及び情報工学部卒
1957年から1991年まで小学校教員。1991年から2001年までグリビツカ郡評議会議員。2001年から市民プラットフォームから出馬し、4期連続で当選。2007年には国民教育次官を務め、教育問題を専門とする。



地域開発相

エルジビエタ・ビェンコフスカ (Ms. Elżbieta Bieńkowska)
非議員
1964年 ミスウォヴィツェ生 ヤギエウォ大学東洋学部卒



シロンスク県地方長官全権代表 (地方契約及び地域開発担当) 等を経て、シロンスク県庁地域開発局長を務める。2007年10月からは、シロンスク企業センター長も兼任、地域開発分野の専門家として、EU委員会との交渉経路を評価され、2007年からトウスク政権の地域開発相に任命された。ポーランド外務省及び英国政府での研修経験あり。

保健相

バルトシュ・アルウコヴィチ (Mr. Bartosz Arłukowicz)
下院議員 (市民プラットフォーム)
1971年 レスコ生 シチェチン医学大学卒 (小児専門)、シチェチン大学でMBA取得



2002年、民主左翼連合 (SLD) より出馬し、シチェチン市議会議員に当選。2005年には社会民主党より総選挙に出馬したものの落選。2007年、「左派民

主義者」(LiD) から出馬し、下院議員に当選。2011年5月、SLD内でナピエラルスキ党首と対立し、SLD議員クラブを離脱、市民プラットフォーム(P0)に移籍、トゥスク政権の社会的弱者救済担当特命代表に就任した。2010年の総選挙でP0リストから出馬し、下院議員に当選。

環境相

マルチン・コロレツ (Mr. Marcin Korolec) 非議員
1968年 ワルシャワ生 パリ国立行政学院ENA卒、ワルシャワ大学法律行政学部卒



1995年から外務省法律条約局に勤務し、1998年、クワコフスキEU加盟政府代表(当時)の補佐を務める。2001年から欧州統合委員会(UKIE)で公使参事官を務め、2005年、経済次官に就任。

科学・高等教育相

バールバ・クドゥリツカ (Prof. Barbara Kudrycka)
下院議員(市民プラットフォーム)
1956年 コルノ生 ワルシャワ大学法律・行政学部卒 法学博士号取得



行政法の専門家として、1998年からピアウイストク法律・行政大学の学長を務める。かつて「連帯」に所属し、2004年、市民プラットフォーム(P0)のリストから欧州議会選に出馬し当選。2007年から科学・高等教育相に就任。2011年の総選挙ではピアウイストク選挙区から出馬し、下院議員に当選。

スポーツ・観光相

ヨアンナ・ムハ (Ms. Joanna Mucha)
下院議員(市民プラットフォーム)
1976年 プンスク生 ワルシャワ大学卒、2007年経済博士号取得



政界進出前は、ルブリン・カトリック大学で教鞭をとる。2002年、自由同盟(UW)から市民プラットフォーム(P0)に移籍し、2007年の総選挙でルブリン選挙区から出馬し下院議員に当選、2011年の総選挙で再選。

首相府長官 **【新田】**

ヤツェク・チホツキ (Mr. Jacek Cichocki) 非議員

1971年 ワルシャワ生 ワルシャワ大学哲学・社会学部卒



1992年から東方研究所勤務 旧ソ連諸国(特にコーカサス地方・中央アジア)の政治・経済を専門とし、2001年から同研究所の副所長、2004年から2007年まで同所長を務める。2008年から首相府次官(特務機関担当)に就任。2011年から内務相。2013年、アラブスκι首相府長官のスペイン大使転出をうけて、内務相から首相府長官に転出。